

NEWSLETTER

No. 43

2 April 2009

・教室をめぐる動き 1
・2009年度地理学教室行事予定 1
・宮地忠幸先生よりの寄稿 2
・地理実習室および地理情報処理室（世田谷10号館）の利用について 3
・地理学教室・購入図書資料リスト（2008年度） 4
・地理学教室・購入主要備品リスト（2008年度） 5
・製本・PDF化して保存される卒業論文主題（2008年度） 5
・2009年3月卒業生の進路・就職先 6
・2008年度における教員の研究活動 6
・教員の研究室と電話番号・メールアドレス 8
・2009年度教員在室時間表 9

【教室をめぐる動き】

2008年度中に、また2009年度を迎えるに当たり、次のような先生方の動きがありました。

<名誉教授記 授与>

長島 弘道 先生 名誉教授に（2008年6月20日）

1978年4月～2008年3月まで本学地理学教室専任教員であった長島弘道先生に対し、これまでの功績を称え「国土館大学名誉教授記」が贈られ、国土館大学として36人目の名誉教授となりました。

下記のURLに写真等も掲載されています。

<http://www.kokushikan.ac.jp/tagblocks/PR/news/Topics/0000000569.html>

<非常勤講師の退任>

吉永 秀一郎 先生 日本の土壌環境

池田 真志 先生 人文地理概説（21ア・教職）、地理と人間生活（総合）

<非常勤講師の新任>

三浦 英樹 先生 日本の土壌環境

清水 孝治 先生 人文地理概説（21ア・教職）

今年度の専攻主任・学年担任・大学院幹事は以下の各先生です。

専攻主任 岡島 建 1年 磯谷 達宏 2年 加藤幸治・宮地忠幸

3年 内田 順文 4年 長谷川 均

大学院幹事 磯谷 達宏

【2009年度地理学教室行事予定】

5月26日～27日	1年地理野外実習（地理学野外実習A）
6月13日	国土館地理学会
9月30日～10月1日	2年地理野外実習（地理学野外実習B）
10月27日～30日	3年地理野外実習（地理学野外実習C）
12月10日	卒業論文提出 締切（15:00）
12月19日	国土館地理学会
2月5日,6日,8日,9日	卒論公開口頭試験

【宮地忠幸先生よりの寄稿】

2008年4月から専任教員となられた宮地忠幸先生に「国士舘大学文学部地理学教室での1年」を振り返っての感想など、ちょっとしたエッセーをお願いしたところ、印象に残った出来事としてのゼミ合宿を題材に寄稿をいただきました。

初めてのゼミ合宿

宮地 忠幸

2008年度に本学地理学教室に着任し、初めてゼミを担当することになった。地理学を学んできた一人として、地理学教室でゼミを担当させてもらうということは、大変光栄なことである。4月、少しでも学生たちに地理学の研究を通して、社会の仕組みや問題を理解し、自分自身の生き方の指針を見出してほしいという気持ちで、最初のゼミの場へ臨んだ。

私が、ゼミの活動としてやってみたい取り組みの一つにゼミ合宿があった。そのわけは、折々、学生たちに研究活動の到達点を実感（理解）してもらい、次なる課題をみつけてもらいたいからである。また、ゼミの「仲間」意識も深めてほしかった。4月早々のゼミコンパの折、4年生と3年生の接点は思いのほか少ないことを知った。これは、昨年度まで3・4年生が世田谷校舎で、1・2年生が鶴川校舎で学んでいたことも関係していると思われる。先輩・後輩の関係を強めておくことは、卒業論文の作成を含めた勉学を進めていく上でも有益であるはずだ。ワープロや表計算のソフトばかりでなく、GISソフトの活用方法の上達は、得てして先輩や友達からもたらされるものである。就職活動や様々な日々の悩み事についても、こうした人の縁によって支えられることが多々あるはずである。

かくして、私のゼミに集まった14名の学生にとっても、指導教員として参加する私にとっても、初めてのゼミ合宿が8月6日から8日にかけて山梨県南都留郡鳴沢村にある富士緑の休暇村で行われた。

1日目、午後2時に宿に集合後、すぐにゼミが開始された。発表内容は、4年生が卒業論文の中間報告、3年生が地理学野外実習Cへ向けた研究目的と関係する既存文献の紹介であった。すべての学生に20分の発表時間と20分の質疑応答の時間が与えられた。まず1日目は、4年生が6名の報告が午後6時過ぎまで続いた。夜、4年生は自身の発表が終わった安堵感もあったが、一方では夏休み中の調査方法などを私と遅くまで打ち合わせた。また、3年生は翌日の発表準備を遅くまで進めていたのが印象的であった。翌日は、午前9時過ぎから3年生8人の発表が始まった。発表は、昼食を挟んで午後5時頃まで続いた。途中、外では雷雨が激しくなり、私たちが使用していた会議室も一時停電に見舞われるなど、多少のハプニングはあったが、都合、8コマ分のゼミは無事に終了した。学生たちも私も疲労困憊になるほどのゼミだった。夕食は、屋外でのバーベキュー。お互いをねぎらいながら盛り上がった。私にとっても普段の教室では見ることのできない学生たちの表情や話を見聞きし、学ぶことの多い時間だった。翌朝、前日までの「疲れ」を少々残しつつも、解散となった。

せっかく避暑地・富士山麓でのゼミ合宿であったが、富士山を見上げたのは最終日の午前中くらいだったし、河口湖をはじめとする観光地にはまったく出掛けることなく終わったのは、少し心残りでもあった。その後行われた野外実習（10月）や卒業論文の提出（12月）と口答試験（2月）に、夏のゼミ合宿の成果がどれほど反映されたかは、心もとないところもある。しかし、学生たちにとっては学びきっかけを得ながら、「考える」時間をもつということは大事なことであろう。そしてまた、「苦しい」時間を共有するからこそ、仲間の大切さも実感できるのではないだろうか。人間的にも私を含め少しずつ成長していきたいものである。ゼミ合宿の意義を、いま改めて感じてみている。

今年の夏のゼミ合宿を、今から楽しみにしている。



写真1. 1日半に及んだゼミ発表と討論



写真2. ゼミ合宿を終えて集合写真

【地理実習室および地理情報処理室（世田谷 10 号館）の利用について】

（※ よく読むこと）

1. 世田谷 10 号館 2 階（10201）に地理・環境専攻の学生のための地理実習室があります。地理実習室は、学生の学習用に利用できます。利用法をよく読んで、積極的に活用して下さい。

利用時間と利用方法

毎日 9：00～18：00（原則）

- ・利用希望者は 5 号館文学部事務室で、カギの貸出簿に、必要事項を記入の上、カギを受け取る。解錠後は所定のカギ掛け（マップケースそば）にカギを掛けておくこと。カギを借り出した者は、退室時には必ず施錠し、カギを文学部事務室に返却すること。
 - ・退出時に他の学生がいて継続して利用したい場合は、あらためてカギを借り出すこと。カギの又貸しは、原則禁止します。
 - ・教員が在室している時は、事務室でカギを借りなくても、自由に入室できます。ただし、教員が退室する場合は、在室者・利用希望者が事務室からあらためてカギを借り出すこと。
 - ・**地理実習室は飲食禁止**です。整理整頓を心掛け、**ゴミ等は廊下にあるゴミ箱に分別して捨てて下さい**。
 - ・地理実習室は学習・研究のためのスペースですので、**携帯電話も使用禁止**です。通話・利用等は玄関・屋外でして下さい。
2. 実習室には地理学に関する基本的図書（多くは貸出も可。貸出方法は下記参照）、地理学関連の辞典もあります。復習・レポート作成時に役立ちます。以前、本地理学教室の教員であった大崎晃先生より寄贈いただいた地理学及び関連分野の図書等も配架してあります。こちらも有効に利用して下さい。
国勢調査、事業所統計、工業統計、商業統計、農業センサスなど主要な統計（南関東の諸都県のものを中心）、道路統計年報、港湾統計年報、特定サービス産業実態調査報告書など図書館にない資料もあります。人文地理関係の科目で有効に活用できます。地理学の専門学術雑誌として、地理学評論（数年分）、経済地理学年報（約 20 年分）もあり、最新号が発行されるごとに配架されます。
統計類、雑誌類および辞書類の貸出は禁止です。統計・雑誌の一次持ち出し（コピー）は、教員の許可があればできます。
 3. 実習室内には地理・環境関係図書、地理・環境専攻学生専用の端末（PC）とプリンタ、スキャナ等が設置されています（学生用 PC は 4 月中に更新・入れ替え予定；新たな機器でより使いやすくなるものも！）。これも学習用に利用できます。情報科学センターの講習を受けた学生に限り、インターネット、メール、その他のソフト（オフィス系）を使用することができます。利用上の注意は、情報科学センターの端末と同様です（**学習に関係ないネット閲覧、ゲーム等は禁止**です）。なお、GIS やリモートセンシング関連のソフトもインストールされているので、宿題や課題などもこれらの PC で行うことができます。
 4. 情報実習室は、学校荒らし・空き巣常習者などに狙われやすく、盗難のおそれがあるので、室内にモノを置いたまま外出しないようにして下さい。
なお、地理実習室内には防犯を目的として 2 台のネットワークカメラが設置されています。このカメラで撮影された動画は、地理情報処理室にあるネットワークハードディスクに保管されています。防犯と危機管理の面からもカメラの設置は必要ですので、理解と協力をお願いします。
 5. 地理実習室の向かいにある地理情報処理室は基本的に研究向けスペースとなります。特殊なソフト・機器等を利用するためのスペースと考えて下さい。使用については教員と相談して下さい（同級生が在室・作業等していても、通常利用の学生は地理実習室の方を利用して下さい）。

実習室の図書の閲覧および貸出方法（※ 必ず読んで、ルールを熟知すること）

- ▼ 研究室備品の地図・空中写真・製図道具等は、実習室内でのみ閲覧・利用して下さい。
- ▼ 利用する人は（教員も含めて）、見たり借りたりした本を必ず元の位置に戻すようにして下さい（図書は分野別に配架されています。おおよその位置は借り出す際、覚えておいて下さい）。多くの学生・教員が利用します。実習室に図書・資料を放置することなどないよう、注意しましょう。
- ▼ 貸出は、「図書貸出簿」（雑誌ラックに置いてある青色の B4 ファイル）に、書名・住所・氏名など必要事項を記入の後、教員のチェックを受け、サインをもらって下さい。
- ▼ 返却も、必ず教員のチェックを受け、「図書貸出簿」にサインをもらって、各自責任を持って所定の書架（置いてあった場所）に戻して下さい。
- ▼ 3・4 年生はできるだけゼミの先生からチェックを受けて下さい。
- ▼ 貸し出し期限は 2 週間です。厳守して下さい。
- ▼ 以上を守らず、無断持ち出した者、貸し出し期限を守らない者には、相応のペナルティが課されます。

【地理学教室・購入図書資料リスト（2008年度）】

※ 書名と出版社名のみ

- 世界の黄砂・風成塵 築地書館
- 海の生物多様性 築地書館
- 年代測定 學藝書林
- 地層の見方がわかるフィールド図鑑 地層を見に行こう地形や鉱物を調べよう 誠文堂新光社
- 世界の火山百科図鑑 柗風舎
- 風景学—風景と景観をめぐる歴史と現在— 共立出版
- プレートテクトニクスの拒絶と受容 東京大学出版会
- 宇宙から見た地球 河出書房新社
- 地質学者が見た風景 築地書館
- 江戸・東京地形学散歩 災害史と防災の視点から 之潮
- 地図の基本がわかる本 25,000分の1地形図の正しい読み方 地球丸
- 山が楽しくなる地形と地学 山と溪谷社
- 川の地図辞典 江戸・東京/23区編 之潮
- 山岳地図の読み方/使い方 えい出版社
- GISの防災・環境への適用 丸善
- 生きもの地図をつくろう 岩波書店
- 自然のメッセージを聴く 静かな大地からの伝言 北海道新聞社
- 地震・津波と火山の事典 丸善
- 黄河断流 中国巨大河川をめぐる環境問題 昭和堂
- 地図情報ものしり百科(全6巻) 学習研究社
- 兵庫の地理 地形でよむ大地の歴史 神戸新聞総合出版センター
- 宇宙から地球を観る 地球観測衛星 日経ナショナルジオグラフィック社
- Google Earth コンテンツ&アプリ作成ガイドブック KML2.2対応 技術評論社
- 瀬戸内海辞典 南々社
- 津波の事典 朝倉書店
- 気象年鑑 2004~2008 気象業務支援センター
- 天気図集成 2001~2005 気象庁
- 気象データひまわり CD-ROM2001 丸善
- 最新気象百科 丸善
- 第29次改訂版 天気図と気象 成山堂
- 高層気象とFAX図の知識(8訂版) 成山堂
- エルニーニョと地球環 成山堂
- 最新気象予報士受験の手引き 成山堂
- 気象予報士の天気学 成山堂
- 雲と雨の気象学 朝倉書店
- 基礎気象学 朝倉書店
- 講座環境社会学 1 環境社会学の視点 有斐閣
- 新・環境科学への扉 有斐閣
- 環境問題の社会史 有斐閣
- 環境経済学入門 有斐閣
- 雲南の焼畑 農林統計協会
- 自然保護法講義 北海道大学図書刊行会
- 新しい海洋科学 成山堂
- 風土の発見と創造(全4巻) 農文協
- 日本の哺乳類学1~3 東京大学出版会
- 日本の哺乳類 改訂2版 東海大学出版会
- 攪乱と遷移の自然史 北海道大学出版会
- ニホンザル保全学 農山漁村文化協会
- 危険・有毒生物 学習研究社
- 日本の野菊(山溪ハンディ図鑑11) 山と溪谷社
- レスキュー・ハンドブック 山と溪谷社
- 森の不思議を解き明かす 文一総合出版
- 森の芽生えの生態学 文一総合出版
- 保全生物学のすすめ(改定版) 文一総合出版
- 土壌を愛し土壌を守る 博友社
- ワイルドライフ・マネジメント入門 岩波書店
- これから学会発表する若者のために 共立出版
- 郊外からみた都市圏空間 海青社
- 観光学への扉 学芸出版社
- 場所の空間学 古今書院
- 都市の景観地理・中国編 古今書院
- 改訂新版ジオグラフィ入門 古今書院
- 行政地理学研究 古今書院
- 都市における地価と土地利用変動 古今書院
- 仕事が見える地理学 古今書院
- 21世紀の都市像 古今書院
- 図説21世紀日本の地域問題 古今書院
- 自然公園シリーズ2利用者の行動と体験 古今書院
- 景観形成の歴史地理学 二宮書店
- 地形図片手に日帰り旅(NHK 趣味悠々) 日本放送出版協会
- 技術者に必要な岩盤の知識 鹿島出版会
- 崩壊の場所—大規模崩壊の発生場所予測 近未来社
- 地球変化の科学—風化と侵食 朝倉書店
- 山崩れ・地すべりの力学—地形プロセス学入門 筑波大学出版会
- 妙高火山群—多世代火山のライフヒストリー— 実業公報社
- 江戸の川・復活 日本橋川・神田川・隅田川 絵図から学ぶ“体感型博物館構想” 東海大学出版会
- 海洋地球環境学 生物地球化学循環から読む 東京大学出版会
- 有珠山 火の山とともに 北海道新聞社
- 生物系統地理学 種の進化を探る 東京大学出版会
- 南アルプス お花畑と氷河地形 静岡新聞社
- シリーズ GIS3 生活・文化のための GIS 朝倉書店
- 交通地理学の方法と展開 古今書院
- 地名の社会学 角川選書
- 新・日本のテーマパーク研究 竹林館
- LRTと持続可能なまちづくり 学芸出版社
- 民族昆虫学—昆虫食の自然誌— 東京大学出版会
- 日本交通史辞典 吉川弘文館
- 観光地域社会の構築—日本と世界— 同文館出版
- 〈図説〉江戸・東京の川と水辺の事典 柏書房
- これからの都市交通 山海堂
- 都市交通地域論 原書房
- 現代都市地域の構造再編 原書房
- 社会経済地域論 原書房
- 鉄道整備と沿線都市の発展—りんかい線・みなとみらい線・つくばエクスプレスの事例— 成山堂書店
- 地図で読み解く日本の地域変貌 海青社
- シリーズ群集生態学 第5巻 メタ群集と空間スケール 京都大学学術出版会
- 原色日本地衣植物図鑑 保育社
- タケ・ササ図鑑 創森社
- 桑原義晴日本イネ科植物図譜 全国農村教育協会
- 原色図鑑芽生えとたね 全国農村教育協会
- 似た草 80種の見分け方 全国農村教育協会
- 葉によるシダの検索図鑑 誠文堂新光社
- 2005年農林業センサス第1巻(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川) 農林統計協会

【地理学教室・購入主要備品リスト（2008年度）】

測量用コンパス一式

ピカソ2.0アカデミックライセンス

など。

- * 地理学教室の備品・電子データ資料等は教員の指導のもと、学生も使用することができます。以前に購入した国勢調査の電子データ（従業通学データ）、商業統計表データ（立地環境特性別統計編（商店街ごとの売上などが掲載されたデータ））などもあります。卒論でも有効に使えます。詳しくは教員（とくに加藤）まで。

【製本・PDF化して保存される卒業論文主題（2008年度）】

- 地理学教室では、1986年度から2008年度までに提出された卒業論文のうち、435編を優秀卒業論文として保存しています。これらは75冊に合本され閲覧できるようになっていますが、順次PDF化し学生の便宜に供するようにすることになりました。PDFとは、どのような種類のOSを使っているパソコンやワークステーションからも読むことができるファイル形式の文書のことをいいます。今後は、大学や自宅のパソコンを使って地理学教室ホームページへアクセスすることにより、優秀卒業論文を読むことができます。4月以降順次公開の予定ですが、まずは2003～2008年度までの卒業論文を2009年度上半期中に公開の予定です。また、1986年度以降の優秀卒論のリストも同時に公開します。なお、これらPDFファイルの印刷はできません。
閲覧にはパスワード等が必要になります。これに関しては講義やゼミの際に、地理学教室専任教員から聞いて下さい。不明な点があれば、担当の長谷川 (hasegawa@kokushikan.ac.jp) まで問い合わせてください。
- 2009年3月17日に行われた全国地理学科卒業論文発表大会（「卒論の甲子園」ともいわれる各大学の優秀卒業論文の発表会：日本地理教育学会主催）では、岩崎 慶太（磯谷ゼミ）、池田 雄斗（内田ゼミ）の両君が発表しました。

番号	氏名	表題	所属ゼミ
1	伊藤 愛	神奈川県鎌倉市に生息するハナアブ科昆虫の分類と分布について	磯谷ゼミ
5	佐藤 圭	九州地方における降雨パターンの経年変化	野口ゼミ
7	陳 曉芬	留学生の生活時間と空間行動 — 国士舘大学を事例に —	内田ゼミ
14	井澤 雄人	マウンテンバイクレジャーによる山地斜面の荒廃 — 専用コースにおける山道の荒廃状況から見た影響 —	長谷川ゼミ
15	熊倉 謙	サンゴ礁における縁溝、縁脚系地形の特徴について — 喜界島・伊是名島・渡嘉敷島・多良間島における地域差とその原因 —	長谷川ゼミ
26	中川 佳子	埼玉県平野部におけるカワウの採食環境の特徴について	磯谷ゼミ
45	竹内 えり	東北および中部日本における逆断層に伴う撓曲崖の形状について	長谷川ゼミ
46	岩崎 慶太	照葉樹林分布限界の二次林における主な照葉樹の分布および立地環境に 応じた種組成・種多様性の違いについて	磯谷ゼミ
49	近藤 博史	中国山地東部地域におけるシオジ林とサワグルミ林の分布と組成および それら規定要因	磯谷ゼミ
50	羽鳥 舞	千葉市における宿泊施設の立地展開	加藤ゼミ
56	田中 祐太郎	北海道小樽市忍路湾と神奈川県三浦市江奈湾に生息するトビの行動の比較研究	磯谷ゼミ
62	西潟 秀平	秀吉系大名によるヨコ町型城下町の建設 — 池田輝政を事例に —	岡島ゼミ
63	池田 雄斗	奈良県明日香村における「ふるさと」演出と古都飛鳥観光の真正性	内田ゼミ
71	真分 純也	小売業競争激化に伴うコンビニチェーンの経営戦略の変化とその意義 — 栃木県宇都宮市におけるコンビニエンスストアの立地展開と取扱商品からの考察 —	宮地ゼミ
74	舟木 和俊	島根県松江市における水田畦畔の植生 — 棚田と平野部および畦畔微地形の種組成の違いに着目して —	磯谷ゼミ
75	高麗 幸大	中部地方における神社と信仰の分布についての考察	内田ゼミ

【2009年3月卒業生の進路・就職先】

ソフトバンクグループ	東京シティ青果(株) (商業)	グリーンデリカ (製造)
千葉県警察	郵便事業(株)	深セン能源公司
(株)オザム (レジャー)	陸上自衛隊	三条信用金庫
リコー販売(株)	日昇ホーム(株) (不動産業)	静岡中央銀行
高瀬物産(株) (食品専門商社)	三井農林(株)	しののめ信用金庫
(株)ヨークマート (小売業)	(株)ユカ (自動販売機)	ジャノメクレディア (情報処理)
日本道路興運(株)	東都自動車 (タクシー会社)	大平ビルサービス (ビルメンテナンス)
エイデン (家電販売)	神奈川中央交通	三井住友銀行
原信ナルスホールディングス(株) (小売業)		(株)P T S (旅行会社)
住友三井オートサービス(株) (車のリース・卸)		(株)読売旅行
東京ベイ舞浜ホテル	九十九電機	アースサポート(株) (廃棄物処理)
国土館大学大学院	横浜国立大学大学院	上越教育大学大学院
明星大学 (通信教育)	玉川大学教育学部 (編入)	

※ ただし、2月初旬時点で教室に、業種だけでなく企業名等も含めた報告のあった分のみ。

【2008年度における教員の研究活動】

野口 泰生 教授

口頭発表：

- ・野口泰生：全国のアメダス地点における気温の永年変化(1979～2007)．日本地理学会春季学術大会，2009年3月29日，帝京大学．

長谷川 均 教授

論文：

- ・東郷正美・長谷川均・後藤智哉 (2008)：死海地溝帯東縁の地質構造．法政大学多摩研究報告，23，pp.1～2．
- ・後藤智哉・長谷川均・松本 健 (2008)：CORONA・LANDSAT・ALOS データを用いた時系列地図の整備—ガーネム・アリ遺跡周辺の過去39年間の土地被覆変化と河道変遷を例として—．セム族部族社会の形成 (文部科学省科学研究費補助金 特定領域研究 Newsletter)，12，pp.7～10．
- ・藤田泰文・長谷川均・後藤智哉 (2009)：光源と測定環境が樹木単葉の分光反射特性に与える影響．国土館大学地理学報告，17，pp.1～8．
- ・長谷川均 (2009)：ヨルダン溪谷北部ウム・カイス遺跡周辺の自然環境．文化遺産学研究，1，pp.7～18．
- ・長谷川均 (2009)：イラク人研修生への文化遺産学教育 地理班の研修(1)．『ヨルダン、ウム・カイスにおけるイラク人の文化遺産研修 報告書』，pp.293～299．

口頭発表：

- ・Hitoshi HASEGAWA：The Decline of Coral Reef Conditions Caused by Extensive Land Modification: A Case Study of the Shiraho Area on Ishigaki Island, Okinawa, Japan. 11th International Coral Reef Symposium in July7-11, 2008 in Ft. Lauderdale, FL.
- ・Rintaro SUZUKI, Hitoshi HASEGAWA, Satoshi MAEKAWA, Kiyoshi ICHIKAWA, Tsuyoshi SHIBATA, Yoshiyuki GOTO：The Making of the Base Maps for Coral Reef Conservation. a Case Study of the Shiraho Area in Ishigaki Island, Okinawa, Japan. 11th International Coral Reef Symposium in July7-11, 2008 in Ft. Lauderdale, FL.
- ・Ken Matsumoto, Hitoshi Hasegawa, Hisao Ushiki and Tomoya Goto：Investigation on the Ancient Site Location in the Mesopotamian Region Based on ALOS Data. The 2nd ALOS PI Symposium will be held on Rhodes, Greece, on November 3-7, 2008.
- ・鈴木倫太郎・長谷川均・前川聡・市川 清士・柴田 剛・後藤 慶之：石垣島白保サンゴ礁における造礁サンゴ類の詳細分布地図 その2 —保全活動のための基図の作成—．日本サンゴ礁学会第11回大会，2008年11月22日，静岡グランシップ．

- ・中森 亨・中村政彦・前川 聡・鈴木倫太郎・長谷川均：石垣島白保周辺の造礁サンゴパッチ分布パターン。日本サンゴ礁学会第11回大会，2008年11月22日，静岡グランシップ。
- ・松本 健、長谷川均、後藤智哉：西アジア考古学遺跡のデータベース化の研究－衛星データ解析によるキシユ遺跡周辺の遺跡推定の試み－。第5回公開シンポジウム 紀元前3千年紀の西アジア，2009年1月31日，国士舘大学鶴川キャンパス。

学会活動、社会活動：

- ・日本地理学会企画委員
- ・日本地理学会地理情報システム技術資格推進委員
- ・日本地理学会地域調査士制度準備委員会委員
- ・東京地学協会「地学雑誌」編集委員
- ・日本サンゴ礁学会 評議員，選挙管理委員長
- ・大学基準協会地球環境科学系専門評価分科会委員

その他：

- ・長谷川均（2008）：死海と地溝（ヨルダン川）。『地形写真資料 営力と大地形③』（地理・地図資料2008年特別号付録），帝国書院。（「死海と地溝（ヨルダン川）」における図版の解説）
- ・村山祐司、若林芳樹、小口高、長谷川均、田村俊和（2008）：特集号「GIS」。地学雑誌，117-2，pp.307～311。（特集号発刊に関する解説）

岡島 建 教授

書評：

- ・復興前後の広島案内図。地図中心，436，p.40。2009年1月。

学会活動：

- ・歴史地理学会評議員，常任委員（庶務責任者）
- ・交通史研究会常任委員（会計責任者）

磯谷 達宏 教授

論文：

- ・ISOGAI, T. (2009) : Distribution of evergreen and summer-green broad-leaved secondary forests along a latitudinal gradient in central Japan: with special reference to the subdivision of Japanese warm-temperate lucidophyll forest zone. Geographical Reports of Tokyo Metropolitan University, 44, pp.11-19.

その他：

- ・国指定史跡東勝寺跡地保存管理計画策定委員会委員（鎌倉市教育委員会）
- ・特定非営利活動法人かわさき自然調査団生田緑地植生管理協議会市民部会講習会「微地形と植生の対応関係を見る(1)」講師，2008年5月18日，川崎市青少年科学館。
- ・特定非営利活動法人かわさき自然調査団生田緑地植生管理協議会市民部会講習会「微地形と植生の対応関係を見る(2)」講師，2008年7月6日，川崎市青少年科学館。

加藤 幸治 准教授

学会活動：

- ・経済地理学会 評議員，常任幹事，総務委員長

その他：

- ・加藤幸治（2008）：コメント。地理科学，63-3，pp.220～221。
（地理科学学会第24回シンポジウム「知識・学習と地理学」におけるコメントのまとめ）

宮地 忠幸 講師

論文：

- ・宮地忠幸（2008）：農業地域情報のデジタルアーカイブの構築．水嶋一雄編『農業地域情報のアーカイブと地域づくり』成文堂，pp.14-23.
- ・宮地忠幸（2008）：中山間地域農業の変容と振興課題—福島県阿武隈高地—．水嶋一雄編『農業地域情報のアーカイブと地域づくり』成文堂，pp.107-123.
- ・宮地忠幸（2008）：野菜産地研究の動向と課題．地理誌叢，50-1，pp.67-73.

口頭発表：

- ・宮地忠幸：ねぎ産地にみる「野菜構造改革対策」の成果と課題．経済地理学会ラウンドテーブル，2008年5月24日，早稲田大学.
- ・宮地忠幸：低食料自給率の背景と日本農業の地域的課題．国土舘大学地理学会，2008年6月14日，国土舘大学.
- ・宮地忠幸：中山間地域等直接支払制度の活用の意義と制度的課題—福島県での活用事例からの考察—．日本大学地理学会，2008年11月22日，日本大学.
- ・宮地忠幸：北海道南空知地方における環境保全型農業の展開と産地振興の課題—商品化する日本の農村空間に関する調査報告（その5）—．2009年度日本地理学会春季学術大会，2009年3月28日，帝京大学.

学会活動：

- ・経済地理学会評議員，総務副委員長
 - ・日本地理学会代議員，集会専門委員
 - ・歴史地理学会集会委員
- ほか

その他：

- ・日本オーガニック&ナチュラルフーズ協会 認証判定委員
- ・全国商工会連合会 小規模事業者新事業全国展開支援事業予備審査委員

【教員の研究室と電話番号・メールアドレス】

※地理・環境専攻専任教員は全員世田谷キャンパス(世田谷・梅ヶ丘校舎)にいます

野口：10号館 2F1004 研究室	03-5481-3246	E-mail:noguchi@kokushikan.ac.jp
長谷川：10号館 2F1003 研究室	03-5481-5247	E-mail:hasegawa@kokushikan.ac.jp
岡島：10号館 2F1002 研究室	03-5481-3245	E-mail:okajima@kokushikan.ac.jp
宮地：10号館 2F1001 研究室	03-5481-5278	E-mail:tmiyachi@kokushikan.ac.jp
内田：10号館 4F1025 研究室	03-5481-5291	E-mail:uchida@kokushikan.ac.jp
磯谷：34号館 8F 824 研究室	03-5451-8154	E-mail:isogai@kokushikan.ac.jp
加藤：34号館 9F 904 研究室	03-5451-8164	E-mail:k2kato@kokushikan.ac.jp

※教員が大学に在学予定の時間等は次ページの教員在室時間表を参照して下さい。オフィスアワーは基本的に先生が在室して学生の質問等に答える時間です。

※それ以外の時間における面会・相談なども，教員在室中に短い時間で済むことであれば，大抵の先生は，急用がない限り答えてはくれます。ただし，基本的には相談や面接等は，事前にアポ（Appointment）をとってからするようにして下さい。オフィスアワーであっても，出張等で不在の場合，他の相談者などがあるため時間が割けない場合もあります。事前にアポを取る方がお互いに好都合です。大学生・社会人としての自覚を持った行動を心掛けましょう。

※したがって，教員の自宅，特に非常勤の先生宅への電話は，先生からの指示がない限りはやめて下さい。

※メールを活用しましょう。多くの先生が電話よりもメールでのアポの方が好都合です。ただし，教員のメールアドレスは携帯のものではありませんので，すぐ返信が来るとは限りません。余裕をもった連絡を心掛けて下さい。アポの際のメールの標題には学籍番号・氏名などを明記するとよいでしょう。先生によっては，標題に番号・名前がないとメールを消してしまいます場合があります（迷惑メール・ウィルスメール対策のため）。

【2009年度 教員在室時間表】

凡例

===== 講義中 _____ オフィスアワー 在室の場合が多い

※ 春のみ：春期のみ講義。 ※ 秋のみ：秋期のみ講義。

※ 第3または第4金曜日には**教室会議(12:00～)**・**教授会(13:00～)**があります。大学にいますが、会えない場合もありますので、注意して下さい。

	時限	1	2		3	4	5	
曜日	時間	9:00～10:30	10:45～12:15		12:55～14:25	14:40～16:10	16:25～17:55	
月	長谷川				野口			
		岡島						
		磯谷						
		加藤		秋のみ				
火	加藤	野口			春のみ			
		内田			長谷川			
		磯谷	町田校舎		岡島		春のみ	
		宮地					春のみ	
								春のみ
水	磯谷	長谷川						
		岡島				秋のみ		
		加藤						
		宮地					秋のみ	
木	長谷川	野口						
		内田						
		磯谷						
		加藤						
		宮地						
金	野口	秋のみ						
		長谷川	秋のみ					
	磯谷	内田						
		岡島						
		秋のみ						
		加藤						
	宮地							